苫小牧工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語ⅢB（機械系）

科目基礎情報

科目番号	0050	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	創造工学科（一般科目）	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	教科書：Mikako Fujioka, Geoffrey Tozer「Fundamental Trainer for the TOEIC BRIDGE Test」（CENGAGE Learning） ／参考図書：石黒 昭博（監修）「総合英語 Forest 7th Edition」（桐原書店）,「TOEIC Bridge 公式ガイド＆問題集」TOEIC運営委員会, １年次購入の文法テキスト		
担当教員	佐藤 奈々恵		

到達目標

1. 一般的な英文の内容を日本語で説明できる。
2. 標準的な単語や語法・文法を理解できる。
3. 一般的な英文の読解や聴解ができる。
4. 継続的な学習によって、第４学年末で受験するTOEICテストにおいて400点以上を取得するために必要な基礎力を確認できる。
5. 英文教材の読解や聴解を通して、国内事情・海外事情の概要を深く理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	一般的な英文の内容を日本語で説明できる	基本的な英文の内容を日本語で説明できる。	基本的な英文の内容を日本語で説明できない。
評価項目2	標準的な単語や語法・文法を理解できる。	基本的な単語や語法・文法を理解できる。	基本的な単語や語法・文法を理解できない。
評価項目3	一般的な平易な英文の読解や聴解ができる。	基本的な英文の読解や聴解ができる。	基本的な英文の読解や聴解ができない。
評価項目4	継続的な学習によって、第４学年末にTOEICテスト・スコア400点を取得することが可能となる基礎力を確認できる。	継続的な学習によって、第４学年末にTOEICテスト・スコア400点取得を目指すことができる基礎力を確認できる。	継続的な学習によって、第４学年末にTOEICテスト・スコア400点取得を目指すことができない。
評価項目5	英文教材の読解や聴解を通して、国内事情・海外事情の概要を深く理解できる。	英文教材の読解や聴解を通して、国内事情・海外事情の概要を理解できる。	英文教材の読解や聴解を通して、国内事情・海外事情の概要を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語ⅢBでは，「語彙力」「文法力」「読解力」「聴解力」を総合的に養成し、第４学年で受験するTOEICテストにおいて、テストスコア400点以上を取得するために必要な基礎力の定着を目指す。
授業の進め方・方法	TOEIC Bridge形式の問題演習を中心とし、語法・文法を理解するとともに読解力および聴解力の向上を目指す。必要に応じて、学習内容の理解を深めるためのプリント教材を使用する。再試験は必要により学年末に1回実施するが，授業への取り組み姿勢が著しく良くない者は対象から除くものとする。
注意点	１．　英語力の維持・向上のため，主体的な学習を継続すること。 ２．　積極的な姿勢で問題演習に取り組むこと。 ３．　常に授業準備を怠らないこと。 ４．　授業時は、英和辞書を必ず持参すること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	TOEIC (TOEIC-Bridge)の出題形式などを理解できる
		2週	UNIT 1. People and Jobs	Unit 1の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。be動詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		3週	UNIT 1. People and Jobs	Unit 1の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。be動詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		4週	UNIT 2. Daily Activities	Unit 2の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。一般動詞（現在形）を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		5週	UNIT 2. Daily Activities	Unit 2の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。一般動詞（現在形）を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		6週	UNIT 3. At School	Unit 3の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。一般動詞（過去）を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		7週	UNIT 3. At School	Unit 3の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。一般動詞（過去）を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		8週	復習テスト①	これまでの学習内容を理解し、それらを運用できる。
	2ndQ	9週	UNIT 4. At a Restaurant	Unit 4の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。助動詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		10週	UNIT 4. At a Restaurant	Unit 4の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。助動詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		11週	UNIT 5. Shopping	Unit 5の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。進行形を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		12週	UNIT 5. Shopping	Unit 5の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。進行形を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。

		13週	UNIT 6. At a Hospital	Unit 6の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。品詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		14週	UNIT 6. At a Hospital	Unit 6の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。品詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		15週	問題演習	TOEIC Bridgeテストの演習で、要点を理解できる。
		16週	前期定期試験	これまでの学習内容を理解し、それらを運用できる。
後期	3rdQ	1週	問題演習	TOEIC Bridgeテストの演習で、要点を理解できる。
		2週	UNIT 7. At a Bank / a Post Office	Unit 7の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。代名詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		3週	UNIT 7. At a Bank / a Post Office	Unit 7の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。代名詞を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		4週	UNIT 8. Travel	Unit 8の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(when, where)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		5週	UNIT 8. Travel	Unit 8の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(when, where)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		6週	UNIT 9. At an Airport / a Station	Unit 9の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(what, who)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		7週	UNIT 9. At an Airport / a Station	Unit 9の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(what, who)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		8週	復習テスト②	これまでの学習内容を理解し、それらを運用できる。
	4thQ	9週	UNIT 10. At a Hotel	Unit 10の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(why, how)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		10週	UNIT 10. At a Hotel	Unit 10の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(why, how)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		11週	UNIT 11. Entertainment / Hobbies	Unit 11の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(how ～)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		12週	UNIT 11. Entertainment / Hobbies	Unit 11の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。疑問詞(how ～)を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		13週	UNIT 12. At an Office	Unit 12の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。「時」や「場所」を表す表現を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		14週	UNIT 12. At an Office	Unit 12の英文を理解し、内容を日本語で説明できる。「時」や「場所」を表す表現を理解し、正しく運用できる。実用的なリスニングができる。
		15週	問題演習	TOEIC Bridgeテストの演習で、要点を理解できる。
		16週	後期定期試験	これまでの学習内容を理解し、それらを運用できる。

評価割合

	定期試験	復習テスト	課題・小テストなど（授業への取組姿勢・態度を含む）	合計
総合評価割合	50	30	20	100
基礎的能力	50	30	20	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0